

お知らせ

情報提供先：島根県政記者会

出雲市政記者クラブ

～尾原ダム湧水対策検討委員会の開催～

尾原ダムでは、試験湛水中の平成23年2月下旬にダム左岸下流の山の斜面から湧水を確認したことから、現在は、ダム貯水位を低下させています。

その間、湧水量、地下水位等の挙動の観測、ボーリング調査等の調査・計測を行うとともに専門家に現地での確認や、指導を頂きながら詳細な状況把握を進めて参りました。

この度、調査・計測値の蓄積、整理ができつつあることから、専門家で構成される「尾原ダム湧水対策検討委員会」を開催し、これまでの各種計測データの分析に対する技術的知見並びに、対策の指導、助言を得ることとし、第1回委員会を6月10日に予定しておりますのでお知らせします。

なお、湧水量は水位低下とともに減少し、一時はピーク時の約4割まで減少しております。また、濁り等もなく、ダムの安全性に影響を及ぼす事象は見られていません。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局

出雲河川事務所

電話：0854-48-0780

(尾原ダム管理支所代表)

副所長(技術)：玉田 たまだ 一雄 かずお

尾原ダム管理支所長：今岡 いまおか 俊和 としかず

第1回 尾原ダム湧水対策検討委員会

【開催予定日】平成23年6月10日（金）10時予定

【議事予定内容】

- ・ 委員会設立
- ・ 調査・計測結果の報告
- ・ 対応策について を予定

◆委員会議事内容の概要は、後日ホームページにて公表する予定。

◆傍聴・取材についてのお願い

- ・ 傍聴については、施設の収容規模が小さいことから傍聴は報道関係者のみとさせていただきます。
- ・ 会場内においては、下記事項を遵守してください。
 - ①あらかじめ用意された席で取材をお願いします。
 - ②委員会の円滑な運営を図るため、ビデオ、カメラ等の撮影は委員長挨拶までの間とさせていただきます。

【開催場所】出雲河川事務所 尾原ダム管理支所
島根県雲南市木次町平田211-5



尾原ダム湧水対策検討委員会

設立趣旨

尾原ダムは、斐伊川の治水事業の一環として、斐伊川上流 47.7km に建設している洪水調節・流水の正常な機能の維持・水道用水の供給を目的とした多目的ダムである。

尾原ダムは、平成3年度から建設事業に着手して以来、国道をはじめとする付替道路工事を実施するとともに、平成 18 年から本体建設工事を進めてきた。平成 22 年 11 月 15 日からは、試験湛水に着手し水位上昇していたが、ダム堤体左岸下流の地山法面から湧水を確認したことから、平成 23 年 3 月 15 日から EL.212.8mまで上昇した貯水位を低下し、各種計測・調査を実施してきたところである。

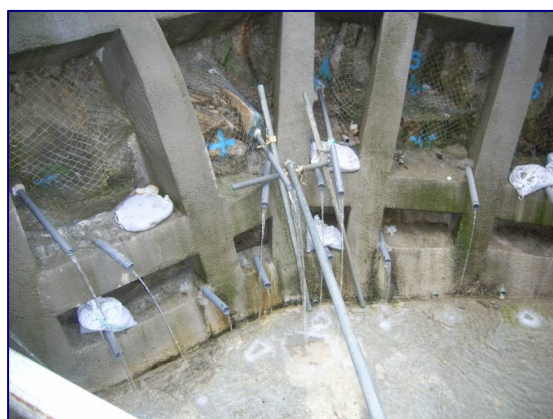
上記の左岸下流の地山法面の湧水対策を実施するにあたり、専門家で構成される「尾原ダム湧水対策検討委員会」を設置し、これまでの各種計測・調査データの分析に対する技術的知見並びに、対策の指導、助言を得ることを目的とするものである。

尾原ダム湧水対策検討委員会 委員名簿

(敬称略 五十音順)

委員	<small>あべ</small> 安部	<small>ともりのり</small> 友則	独立行政法人 土木研究所 水工研究グループ長
委員	<small>かわさき</small> 川崎	<small>ひであき</small> 秀明	山口大学大学院 理工学研究科教授
委員	<small>のなか</small> 野中	<small>つぐひろ</small> 資博	島根大学生物資源科学部教授
委員	<small>ひのきだに</small> 檜谷	<small>おさむ</small> 治	鳥取大学大学院工学研究科教授
委員	<small>やまぐち</small> 山口	<small>よしかず</small> 嘉一	独立行政法人 土木研究所 水工研究グループ 水工構造物チーム 上席研究員
委員	<small>よしだ</small> 吉田	<small>ひとし</small> 等	財団法人 ダム技術センター 研究第一部長
委員	<small>わきざか</small> 脇坂	<small>やすひこ</small> 安彦	独立行政法人 土木研究所 地質監

●湧水量の状況



最大湧水時点：毎分 360L



H23.4.4 時点：毎分約 170L

- ◆ 湧水量は水位低下とともに減少し、一時はピーク時の約4割の量となっている。
- ◆ 湧水には濁り等もなく、ダムの安全性に影響を及ぼす事象は見られていない。

